

おんた
市民とあゆむ

議会の

ひ

る

は

おかや市議会だより OkayaCity Assembly News
2024年（令和6年）10月25日発行

No.37 / 2024 Oct.



令和5年度 決算審査

P.2 P.3



『岡谷市に議会は必要か？』

P.8 P.9

【写真】岡谷市民病院病理診断科 石井 恵子 先生よりご提供
「赤、黄の落ち葉と緑の苔のコントラスト」 諏訪地域

ここに 着目!! 総額381億円認定!

一般会計と特別会計(7会計)は、9月17・18日、
企業会計(3会計)は、9月24・25日に行われました。

議長

事業の成果と課題から 未来の政策に繋げる!

事業の改善状況や政策の
成果・課題を明らかにする。
将来投資の可能性を検証
し、今後の予算に反映させ
たい。

今井康善

委員長



藤森弘

安否確認配食サービスで2件の孤独死を発見
独居世帯安否確認サービスで、年間232名、延べ
30,281件の配食を実施。より多角的な見守りが
必要。

決算特別委員会 一般・特別会計



詳細はこちらから
アクセスできます

副委員長



土橋学

財政健全化と 支援策の強化

市税収入増加、移
住支援や高齢者
福祉の強化、エネ
ルギー対策も推
進し安定した財政
運営に注目。

移住・定住促進、 交流関係人口創 出について



吉田浩

新事業の展開や
注目度の高い事
業の拡大と地域
おこし協力隊の
活動によるシテ
ィプロモーションの強
化も図られた。

長引く 物価高経済



早出すみ子

コロナ後の市民
病院への病床確
保料、物価高騰へ
の支援、市税他
収入状況や執行
状況の回復を確認
した。

市民総参加の まちづくり



花岡健一郎

令和5年度は、第
5次岡谷市総合
計画、前期の最
終年、各種事業
の進捗が計られ
たか。

財政の指標から みる健全性と歳 入の財源確保



田村みどり

財政力の強さの
財政力指数・財政
の弾力性の経常
収支比率の評価
と歳入での自主
財源と依存財源
との均衡に着目。

歳入確保に向け た取り組み状況



丸山善行

ふるさと寄附金業
務委託料につい
て、費用対効果及
び業務委託によ
る職員の負担軽
減状況を確認し
た。

事業執行後の 評価と課題の 検証について



小松壮

各種事業が市民
福祉の向上に結
びついているか、
また事業の課題
や問題点の検証
がされているかに
着目をした。

《水道事業》

1 岡谷市水道事業経営戦略に基づく効率的かつ合理的な事業運営。

2 漏水箇所の早期発見及び迅速な修繕の対応、更なる有収率の向上への配慮。

3 老朽鉄管等の計画的な更新や耐震化の推進。

7 市税収入の確保のためのきめ細やかな対応と収納率の向上。ふるさと納税制度などによる自主財源の確保、特定財源の確保。

6 川岸学園構想に係る市民への更なる説明と対話、意見聴取、構想の実現に向けた着実な進展。

5 自主防災組織や消防団活動の充実、防災・減災体制の強化、災害発生危険個所の把握と予防措置を図る施策の積極的な推進。

4 製造業者のデジタル化推進、生産性の向上、新技術開発、次世代産業への参入などの支援体制の強化。

3 市民との共創による岡谷駅周辺整備の早期具現化、小規模事業者や商業者の支援体制の強化、賑わいの創出と商業の活性化。

2 子育て支援など市の魅力の積極的な情報発信、移住・定住につながる施策の推進。

1 電気・ガス・食料品等の価格高騰に対する広範な支援体制の強化。

《一般会計・特別会計》

【主な要項事項】

新型コロナウイルス禍 後の決算内容に注目!

これまでの社会・生活様式に戻ったことによる市政運営と決算への影響と評価及び課題に注視して審査を実施。

監査委員



中島秀明



令和5年度決算審査

決算認定では、歳入歳出予算の執行状況である「決算」について、その内容を「審査」したうえで、収入・支出が適正かつ正当に行われたかどうかを確認しています。これは、議会の機能のひとつとして大変重要なものです。

副委員長



秋山良治

地域密着で質の高い医療の継続を

①地域密着で質の高い医療の継続を
②病院事業は給与費の増加、コロナ補助金の減少等の影響を受け赤字。経営の健全化が課題である。

委員長



上田澄子

病院事業会計における純損失計上

コロナ5類移行で病床確保料減少等あり純損失の計上になったが、今後も市民病院の役割を果たしてほしい。

決算特別委員会 企業会計



詳細は「10月5日
アウター・インナー」



宇野香二

経済性と公共性の両立の取り組み状況

コロナ後の状況、原材料高等による経費増の状況における経営努力、人材育成、将来を見据えた投資等に注目。



今井浩一

上下水道というライフラインを守るために

「人口・世帯の減少」、「耐震化・修繕」と相反する課題を抱えつつも健全経営を維持・継続するための芽生え。



渡辺太郎

予算の執行状況と成果、健全適切な財政運営

補償水と不明水の把握や専門職員の育成。病床利用率、緩和ケア病棟、救急医療の受け入れ、患者案内システム。



笠原征三郎

歳入の「地方交付税」と「臨時財政対策債」

「地方交付税」約4,100万円減額である。「臨時財政対策債」と合わせて減額されているのはなぜか。



山崎仁

上下水道事業の整備および病院サービス向上

水道料金の安定的な供給継続、災害時に対応可能な管路整備、病院での市民健康維持サービス向上への取り組み。



酒井和彦

新型コロナや燃料費高騰の各事業への影響

新型コロナ感染症が5類移行となったことや燃料費等の高騰が各事業に与えた影響について着目した。

令和5年度決算一覧表		歳入(円)	歳出(円)	結果
一般会計・特別会計	一般会計	23,846,014,380	23,110,735,406	認定
	国民健康保険事業特別会計	4,250,812,724	4,150,448,227	認定
	地域開発事業特別会計	21,808,128	231,782,135	認定
	分収造林事業特別会計	22,410,624	20,834,965	認定
	霊園事業特別会計	70,443,311	24,060,003	認定
	温泉事業特別会計	42,504,255	16,688,274	認定
	後期高齢者医療事業特別会計	928,527,156	901,904,056	認定
	湊財産区一般会計	13,320,148	616,853	認定
令和5年度決算一覧表		歳入(円)	歳出(円)	結果
企業会計	水道事業会計	992,789,626	822,834,293	認定
	下水道事業会計	1,731,362,502	1,572,486,893	認定
	病院事業会計	7,190,583,509	7,257,929,493	認定

※各 決算特別委員長による報告全文は市議会HPに掲載しています。

※企業会計は、収益的収支(消費税込み)を記載しています。

委員長報告全文は市議会HPに掲載しています。

- 《下水道事業》
- 岡谷市下水道事業経営戦略に基づく更なる健全経営。
 - 計画的な施設の耐震化や長寿命化対策、雨水渠の整備の推進など、危機管理体制の強化。
 - 未接続世帯への個々の事情を踏まえた丁寧な対応。
- 《病院事業》
- 社会や環境の変化に適応し、医師・看護師の確保や質の高い医療の継続的かつ安定的な提供。
 - 国の動向や経済情勢に注視し安定した病院経営。
 - 地域の医療機関や施設などとの連携によるさらなる市民福祉の向上。

ズバリ! 市政に問う!

令和6年
第4回定例会(9月)

ダイジェスト版

質問	議員名	ページ
長引く物価高から市民生活を守る施策は?	笠原 征三郎	4
地域支え合い型移動支援事業の内容は?	吉田 浩	5
放課後子ども居場所づくり事業の現状は?	今井 浩一	5
川岸学園構想について市民からの意見は?	上田 澄子	6
学童保育の利用状況と分析について	土橋 学	6
ラオカヤ解体決定以降、解体後の検討は?	宇野 香二	7
本年度の消防操法大会の開催状況は?	丸山 善行	7
早出市長初めての市政懇談会での市長の感想は?	山崎 仁	10
岡谷市土地開発公社の事業と保有資産の現状は?	藤森 弘	10
生活保護のケースワーカーの配置状況は?	酒井 和彦	11
再生可能エネルギーの現状と目標は?	早出 すみ子	11
スワンバス運行上廃止された二つの停留所の復活は?	田村 みどり	12
岡谷市公式ホームページの目的・役割は?	秋山 良治	12
総合計画は行政の進め方を示すもの。その評価は?	花岡 健一郎	13
川岸学園構想をパイロットモデルとした考え?	渡辺 太郎	13

一般質問

●議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。

年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は、“くじ”で決めています。

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

岡谷市公式チャンネル

★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



Q 令和5年度の建設工事等の落札率は97%と非常に高い数値になっている。この落札率をどう認識しているか?

A 入札事務は、公平・公正に実施しており、落札率については適正と考えている。

建設工事等の落札問題

Q 過去2回実施した、50%のプレミアム付商品券の再度実施する考えはないか?

A 事業費は約3億円であり、一般財源のみでの実施は困難。今後、国・県からの財源確保の見通しがたてば、商品券事業も含め、施策を図っていく。

Q 現在のとこ、国や県からの財源が見込めないため、市独自の施策は難しい。

A 市独自の対策を講じる必要がある。



笠原征三郎



Q 長引く物価高から市民生活を守る施策は?

A 現在も実施している給付金事業は、令和5年度住民税所得割非課税世帯へ10万円、18歳以下の児童を養育している低所得世帯へ5万円などを支給している。

Q 仮に落札率が95%になった場合、落札額にどのくらいの影響があるか?

A 平均落札率が96.64%だから、95%になったとすれば、約5200万円の減額になる。

Q 6月の議会での「任期中にしっかりとやっていく」と答弁したがその本意は?

A 健全財政を維持しつつ、できることから取り組んでいく、という思いの答弁だった。

Q 一気に無料化の実現が無理なら、任期中に段階的に無料化を拡大していく考えはあるか?

A 国において、学校給食に関する実態調査を行っている。こうした国の動向等を注視しながら、できるところから取組み、公約実現に向けて前進していきたい。



物価高に悩む

Q

地域支え合い型移動支援事業の内容は？

A

日常生活に必要な移動手段の確保が困難な高齢者を地域のボランティア等が自家用車で送迎活動を行うものであり、市では活動中の事故の補償として傷害保険への加入に対し補助をしている。



吉田 浩



Q 利用者と従事者の実績は？

A 令和5年度は利用回数として2団体で延べ698回の送迎を行っている。また事業従事者、いわゆるボランティア等の運転手は10名。

Q 利用者並びに従事者の声は？

A 利用者から「足が弱くなり生きがいデイサービスに自力で通えず、退会するしかないと思ったが続けられて感謝している」、「仲間と助け合うことで住み慣れた地域で暮らせるのはありがたい」などの声があり、従事者からは「利用者に感謝され、やりがいを感じる」、「地域の結びつきに貢献できている」などの声がある一方で「担い手を増やしていく必要がある」など課題も見えた。

Q 現在、小井川区のみが取組だが将来的に拡充させるお考えは？

A 地域におけるボランティアの自主性を尊重した事業なので、市全域に同じやり方を行政サイドから強要

するのは難しい。しかしながら高齢者の移動手段に関する課題は他地区でも同様。生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターなどが仲介し、取組が拡大するよう努めている。

Q ボランティアへの支援に対する岡谷市の考え方は？

A 移動支援の従事者をはじめ地域でボランティア活動する方々は岡谷市の福祉の土台として支えていただいている皆さん。多くの方々に参画いただくためにも、有償ボランティア制度を含め、先進地域の取り組みを研究し、今後の地域福祉活動がどのように継続できるか、民間事業者とも連携しながら、支え合いの地域づくりを推進してまいりたいと考えている。



ボランティアが高齢者を自家用車で送迎

Q

放課後子ども居場所づくり事業の現状は？

A

全小中学校で水曜日の放課後、事業コーディネーターを中心に、特別教室や体育館等で趣向を凝らした運動遊び等を実施。令和6年度は現在898名の児童が登録している。



今井 浩一



Q 事業スタートの背景は？

A 地域の協力のもと、子どもたちの放課後に安全な居場所を確保し、多様な体験や活動を行う場所を全小中学校に設けるとの国の狙いをもとに開設。今年度で14年目となる。

Q 成果と課題は？

A コーディネーターは本年度当初で12名、安全管理スタッフ60名、ボランティア150名。地域の高齢者と子どもが触れ合う機会、核家族化が進む現代社会では貴重。一方で、担い手の高齢化、新しい人材の確保が課題。発達特性のある子どもも参加しており、スタッフの理解を高めることも運営上の課題。救命救急講習、発達特性等の研修も実施しながら対応している。

市史編さんには

市民による資料提供も

Q 市史編さん事業の進捗状況は？

A 市史編さん編集室は社会科に精

通した専門職員を配置、先進地を訪問するなど研究を進めている。作業を効率的・効果的に進めるため庁内各課選出の職員による市史編さんプロジェクトチームを設け、資料の掘り起こしなどを行っている。また既刊の岡谷市史をデジタル化した。完成時期は令和12年度末を予定。

Q 資料収集について

A 昭和終わり以降の歴史を扱うが、都市基盤整備など岡谷市が大きく動いた時代だ。基本方針が決定次第、市民から必要な資料の提供も広報したい。資料のデジタル化も可能な範囲で行う。

Q 動画への対応は？

A 8、16ミリは図書館や秘書広報課等でも保管している。市史編さんに必要なものは著作権・個人情報に配慮した上で、データ化を含めて適切に保存・活用の方法を考えていきたい。



過去に編纂された岡谷市史

Q 川岸学園構想について市民からの意見は？

A 小学校卒業式や先生の配置はどのようなものかという質問や、地域の誇りとなる魅力ある学校にしてほしい。また、地域活性化の起爆剤となるような学園にしてほしいなど前向きな意見をいただいている。



上田 澄子



Q 幼保連携型認定こども園・義務教育学校併設のデメリットは？

A 6歳から15歳まで9年間人間関係が固定化されることや、小学校から中学への変化のきつかけが失われる。また、小学校卒業、中学校入学という大切な節目の体験が失われる。そのほか、通園・通学時の混雑などが想定される。

Q デメリットに対する対策は？

A 固定化については、縦割りの交流やICTを活用した他校との交流などで対応する。また、卒業・入学時期には思い出となる行事を検討する。登下校と園児送迎時の安全確保では、安全な歩行動線の検討や園の送迎バスの導入などを検討している。

Q 概算事業費について、学校施設整備は約30億円以内、認定こども園整備に約7億円以内という事だがその詳細と、今後の見通しについては？

A 学校設備では、川岸小の長寿命化改修工事・部解体工事・小中学校の接続部の給食室などの工事を予定している。認定こども園では、園舎新築工事を行う計画となっている。また、この金額は目安であり資材高騰など変動する可能性もあるが、事業費圧縮に努めていきたい。

長地保育園の駐車場確保と近隣道路の安全確保について

Q 長地保育園に隣接する駐車場の確保は？

A 長地保育園に隣接する駐車場については、以前から探しているが、土地がなく確保は難しい。

Q 近隣道路の安全確保は？

A 現在の駐車場である中屋区公民館からの登園道路については、路肩のグリーンベルト化やガードパイプ設置などできるだけだけの安全対策を行っている。



子どもが主人公の学園を

Q 学童保育の利用状況と分析について

A 過去5年間、利用者数は横ばいで推移している。本年度は642人で、保護者の共働き世帯が増えたことにより、利用ニーズは引き続き高い状況と分析している。



土橋 学



Q 学童指導員の人数や勤務体制について、平日と長期休暇中の違いは？

A 市内13の学童クラブに13名の指導員、26名の補助指導員が勤務している。平日は午後1時30分から6時45分、長期休暇中は7時45分から6時45分。シフト制で運営している。

Q 学童クラブに通いたくない児童の問題行動への対応は？

A 学童クラブでは、児童が安全に過ごせる環境を重視、友人間のトラブルや無気力な態度には学校や保護者と連携し対応している。動機づけも重要視している。

ビジネスケアラーへの支援策

Q 仕事と介護を両立するビジネスケアラーへの支援策は？

A 地域包括支援センターで24時間介護相談を行い、訪問介護やショートステイを提供している。介護者向けに講演会や相談会を実施し、負担

軽減に努めている。

Q 介護休業制度の利用状況と促進策は？

A 介護休業制度は、要介護状態の家族を介護するために取得可能、岡谷市内で年間26件の申請がある。チラシやポスターで制度の周知を進めている。

リサイクルステーションの現状

Q 市内の24時間対応リサイクルステーションの現状と課題は？

A 市内に7カ所のリサイクルステーションが設置され、紙類やアルミ缶を回収している。不法投棄の問題もあり、防犯カメラの設置で改善を図っている。

Q 小型家電リサイクルの現状と回収体制は？

A 市はリネットジャパンとの協定により、宅配回収を実施している。パソコンは無料回収可能で、市は広報で周知を進めている。



ビジネスケアラー

Q ララオカヤ解体決定以降、解体後の検討は？

A 五年前にララオカヤの廃止・解体を決定して以降、市の権利一本化を最優先に取り組み、後利用の計画については権利の本化後に検討を行うとしていた。



宇野 香二



視して、条例制定の時期の検討や空き地の施策研究をしたい。

Q 改正空家特措法が昨年12月に施行され、管理不全空家が新設されたが、市の取り組みは？

Q ララオカヤが5年後10年後もそのままであれば、まちの魅力を著しく損なうと思うがどうか？

A まちの魅力が損なわれることがないよう、建物の早期解体に向けて最善の策を検討している。

Q 今年度からララオカヤの解体費用について、一定の条件を満たせば国の補助が可能になったと聞いている。その条件は具体的に何か？その場合、解体の時期は？

A 条件は、まちの将来ビジョンの策定と令和10年度末までに都市再生整備計画の国への提出。解体の時期は、今年度の駅周辺整備検討事業により提案を受ける予定であり、極力早めを示したい。

Q 空き地条例の制定の考えは？

A 国の動向（所有者確知の空き地荒廃を防ぐ新制度創設の検討）を注

気象防災アドバイザーの活用による地域防災力の向上

Q 今まで大雨土砂災害を経験した岡谷市としては特に、気象庁から委嘱される気象防災アドバイザー採用は重要と考えるがどうか？

A 防災の啓発活動等その他、災害時に気象や防災の専門的な知見を生かした助言等を貰えることから、気象台との連携を図る中で他の事例を参考に研究をしていく。

Q 改正空家特措法が昨年12月に施行され、管理不全空家が新設されたが、市の取り組みは？



大雨土砂災害の対策を

Q 本年度の消防操法大会の開催状況は？

A ポンプ車操法の部が6チーム、小型ポンプ操法の部が2チーム、消防ラッパ吹奏の部は選抜チームの技術披露とし、開閉会式を簡素化、大会時間の短縮を図った。



丸山 善行



市政懇談会について

Q 「まちづくりふれあいトーク」の目的や21区で開催した理由は？

A 川岸学園整備やララオカヤを含む岡谷駅周辺整備等重要な施策を詳しく説明させていただくこと、各区の公会所で実施することで多くの方に参加していただくため。

Q その後の対応や各区等へのフィードバックは？

A 担当部署において各区や質問者と連絡を取るなどして随時対応し、提言などについては予算編成の参考とさせていただいている。

南海トラフ地震臨時情報について

Q 8月8日に日向灘を震源とする地震が発生し、臨時情報の「巨大地震注意」が発表されたが、岡谷市がとった対応は？

A 岡谷市地域防災計画に基づき、レベル4の非常態勢とし岡谷市災害対策本部を設置し、住民への周知、避難所開設準備等を実施した。



女性消防団員活躍中

※10ページへ続く→一般質問ダイジェスト版

『シンポジウム 盛大に開催』

意義と議会を構成する議員の役割とに基づいた『岡谷市議会のあり方』、
を深めることを目的として開催しました。

場 所 カノラ小ホール **来場者数** 約200名

シンポジウムの概要

第1部 基調講演

「人口減少・AI時代における議会の意義と役割」なぜ岡谷市議会には立候補者がいないのか

講師：早稲田大学
マニフェスト研究所顧問
北川 正恭氏



第2部 ① パネルディスカッション

『岡谷市議会に18名は必要か?』

コーディネーター：早稲田大学マニフェスト研究所
事務局 中村 健氏

パネラー：今井 康善氏

(岡谷市議会議長)

パネラー：春谷 巻雄氏

(市民と議員の

架け橋の会代表)

パネラー：山本 麻琴氏

(JCシニアクラブ)



第一部 基調講演

地方分権「括法」ができて、地方が国と対応になつてきたということがこのシンポジウムで証明されている。「変わらなすぎや」という覚悟が議会の中でまとまったということである。

議会の役割は、監視機能だけでなく民意の反映もある。そのことを議員が十分理解する必要がある。市民の皆さんにも十分理解していただいた上で議会活動が進んでいけば、議会の不要論はなくなる。このシンポジウムをつのぎつかけとして、議会が民意を反映させて、まちづくりを進めていかななくてはならない。



第二部 パネルディスカッション

「岡谷市議会に18名は必要か?」

◎ 議会に対する考え

今井議長

18人がチームとして議会改革に取り組んでいるところである。道半ばであるが、市民の皆さんとともに進めていきたいと考えている。

春谷氏

市民の負託を受けて堂々と議会で活躍するものと考えている。

山本氏

将来都市像の実現のために、必ず必要なもの。ただ、市民の一人として実感が無い。

中村氏

職業別でいうと、都道府県、市区町村どこでも、専業で議員になっている方が圧倒的



パネラー
今井 康善
市議会 議長



パネラー
春谷 巻雄氏
市民と議員の
架け橋の会代表



パネラー
山本 麻琴氏
JCシニアクラブ



コーディネーター
中村 健氏
マニフェスト研究所
事務局長

に多い。年齢高めの男性というイメージが少しあるかと思われる。

◎ 前回の選挙で欠員無投票だったことについて

山本氏

関心がなかったというのが正直なところ。

春谷氏

無関心が多かったと感じている。議員定数削減の議論を進めるということもあり、議論の場を作った。市民と議会・議員が心を寄せてやっていたら、市民のための市政へ変えていくことができるかと期待している。

今井議長

これまでの選挙では、地域で推されて出てくる議員が多かった。昨年の選挙では地域で出せなかったという特殊事情があり、他の自治体である定数割れとは違うと思う。

◎ 定数割れを解消するためには?

春谷氏

「定数割れ」と「なり手不足」は結びつけて考えないといけない。なり手不足解消への対応として、ワークショップを開催して市民の真の声を聞いてほしい。また、若い世代や女性が議員になりやすい環境を作ること必要。

山本氏

働いている世代や女性など、議員になりたくてもなれない人がなれる動きがあればいい。

『議員のなり手不足に向き合

岡谷市議会における定数割れという事態を踏まえて、地方自治における議
特に『議員定数』に関しての意見交換と討

日 時 令和6年10月3日(木) 18:30~20:45

今井議長

議会をもっと知ってもらえる場を作らなければならぬ。議会との接点をどう作っていくか。まだまだ議会の努力が足りないと感じたところである。

中村氏

岡谷市議会の議員報酬は35万3千円。期末手当もあり、選挙で当選したら4年間この報酬を得られる。ただし、4年後にどうなっているかわからない。無職になる可能性もある。保険も年金も退職金もない。この額で生活できるかという現実厳しい。岡谷市の予算は年間415億円。その使い道を決めているのが議員。ものすごい責任を背負っている。そんなことも加味しながら議員定数を考えていく必要があると思っている。

Q 議員定数18人についての考え方

今井議長

議員定数は市民の権利である。多い少ないを言うのは難しい。多くの市民の皆さんから考えをお聞きたい。

山本氏

何名がいいのかわからないが、一定数は30代から50代の世代の方に議員になってもいい、幅広い年代の議員さんが行政に対して話をしていける、そんな議会の形であってほしい。

春谷氏

人口から考え、議員定数15名に削減すればいいと考える。

◆北川氏による総括

民意を反映するのが議会だから選挙がある。いろんな人が出てきて皆でまちを作っていくという雰囲気がち全体に広がってきた時に、地方分権、地方創生の実(じつ)が上がつていく成果が出てくる。地方分権の精神が表現された第1回の会合であった。



対話集会のお知らせ

参加無料！
申込不要！

岡谷市議会の議員定数について市民と共に考えます！

6会場で市民の皆さんとの「対話集会」を開催します。どの会場でも参加できますので多くの皆さんのご来場をお願いします。

令和6年度対話集会の会場と日時

(受付はどの会場も開始30分前からです。)

- ・ 市役所9階大会議室 10月22日(火) 19時～ **済**
- ・ 川岸公民館 10月29日(火) 19時～
- ・ 長地公民館 11月 7日(木) 19時～
- ・ 小坂公民館 11月18日(月) 19時～
- ・ 花岡区民センター 11月21日(木) 19時～
- ・ イルフプラザ 3階 12月17日(火) 19時～
(カルチャーセンター)

記事をご覧の上、市議会の議員定数等に関するアンケート(4項目)にご協力をお願いします。

※シンポジウムや対話集会にご参加されアンケートにお答えいただいた方は、ご遠慮ください。(同様の質問のため)

広報からのアンケート
2次元コード



Q

早出市長初めての市政懇談会での市長の感想は？

A

子育て世代から高齢者まで幅広い方に足を運んで頂き、多岐にわたる生の声を聞き大変有意義で実りある時間だった。



山崎 仁



Q 懇談会での市民の声や市長への要望や期待の声は？

A 川岸学園構想やラオカや解体および岡谷駅周辺の整備の考え、防災行政無線のデジタル化での防災ラジオの代替手段、諏訪湖スマートインターチェンジに関する事、市長への期待の声は、まちづくりの先頭に立つて引張って頂きたいなど。

Q 「市長らしさ」を前面に出して頂きたいが、市民に対する市長の思いは？

A 多岐にわたる生の声には、市民の熱い思いが込められていると感じる。期待に応えるためリーダーシップを発揮したい。

Q 市政懇談会で出た意見や要望について、公開しないのか。また、今後どのように活かしていくのか岡谷市の考えは？

A 意見や要望は市ホームページ

で公開。来年度の予算編成の参考にし、国や県へは伝えるべき要望は粘り強く伝える。

屋外水泳プール跡地におけるスケートボードの利用について

Q 屋外水泳プールの跡地がスケートボード練習場となった経緯は？

A 平成21年度の屋外プール廃止後、愛好者たちの要望を受け、平成23年度からスケートボード練習場として暫定的に無償貸与。

Q スケートボードの人気を受け、岡谷市ではスケートボード練習場を整備する計画は？

A 令和10年の国民スポーツ大会に向けた施設整備や、安全に利用するための改修が最優先。現在は練習場を整備する計画はない。



みんなで楽しむスケートボード

Q

岡谷市土地開発公社の事業と保有資産の現状は？

A

公有地先行取得事業を平成25年度末で廃止し、現在は土地造成事業のみを定款上の業務としている。土地開発公社が保有する不動産は現状ではない状況にある。



藤森 弘



Q 空き地や空き家などが社会問題となる中、土地開発公社は積極的にこれらを先行取得して、不動産の流動化を促す先頭に立つべきではないのか？

A 個人住宅や事業所などを空き地・空き家対策として取得することは、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき規定している定款に定められた業務の範囲を超えるものであり、現在は考えていない。

森林環境譲与税について

Q 令和5年度の森林環境譲与税の具体的な用途は？

A 市有林の間伐や保育事業、森林経営管理制度の運用による民有林の整備、林業施設の維持管理、水源の森の保全、岡谷小学校跡地の植栽管理などとなっている。

Q 令和6年度の森林環境譲与税交付見込み額や使途の予定は？

A 国による森林環境税の賦課徴収が始まり、令和6年度は2100万円の交付を見込んでいる。使途は森林整備における基盤となる林道整備を拡充し、GPS機能を搭載し省力化できる測量機器の更新を行う計画である。

岡谷市やまびこ国際スケートセンターの今後について

Q 岡谷市やまびこ国際スケートセンターの存廃の是非について協議に進展はあったのか？

A 引き続き検討を行っており、遅くとも令和7年度中に決定したい。

Q 令和5年度の指定管理料は？

A 物価高騰対策支援分を含めて8544万円余となった。

Q 県や諏訪広域圏に経営支援を求める考えはないのか？

A 諏訪広域での連携や県に対する支援協力などについては現段階では考えていない。



岡谷のスケート文化をどうする？

生活保護のケースワーカーの配置状況は？

A 社会福祉法に則り、ケースワーカー一人あたり80世帯を超えないよう配置。



酒井 和彦



Q 社会福祉士等の資格取得者は？

A 社会福祉士が2名。社会福祉士・精神保健福祉士・臨床心理士は0人。

Q 資格取得のための補助制度などはあるか。

A 資格を保持している職員を採用したり配置することで対応。

【要望】 業務に必要な資格であれば市による補助制度も必要ではないかと考える。検討してほしい。

扶養照会について

Q 厚生労働省からの令和3年2月の事務連絡では例えば10年間音信不通な親族については関係が断絶しているものと判断して扶養照会の対象としなくて良い旨の記載がある一方、「生活保護のしおり」にはそういった情報がないとみられるがどうか。

A 厚生労働省からの事務連絡は把握しており、その内容に従って運用している。

【要望】 英語の略語などを日本語にして高齢者にもわかりやすい内容にしてほしい。

周知方法について

Q 生活保護制度の利用方法の周知は？

A 市のホームページのほか、市税の納税相談や岡谷市社会福祉協議会での貸し付け相談において困窮を認識した場合に社

会福祉課を紹介。重層的支援体制整備事業も本格的に開始しており、相談しやすく安心して申請できるよう取り組む。

Q ポスター・チラシなどの印刷物の作成予定は？

A 今のところないが重層的支援体制支援事業を進めており、もれなく周知できるようにしたい。

Q 外国人も困窮した場合保護の対象となるか？

A 昭和29年5月8日付厚生省社会局長通知に基づき、一定の資格のある外国人には生活保護法を準用。

Q 保護対象とする基準は国籍によって異なることはないか？

A 通知に基づき、外国人にも同様に対応している。

Q 「生活保護のしおり」に外国人が生活保護の対象に含まれることを記載できないか？

A 外国人向けの各種言語のチラシの作成の検証も必要と考える。

【要望】 生活保護の周知のための印刷物に外国人も対象であることを明記すれば先進事例になると思われる。ぜひ前向きに検討してほしい。



生活保護のしおり

再生可能エネルギーの現状と目標は？

A 太陽光発電の届出は2609件、バイオマス1件。太陽光発電が岡谷市には最も適した再エネと評価している。太陽光発電は毎年130件増加している。今年度、導入目標を検討している。



早出すみ子



Q 太陽光発電施設の管理状況

A 市のガイドラインがあり、毎年、施設の管理者にチェックシートで確認している。降雨時の対応を追加し、定期点検時には雑草も確認している。森林の伐採は0.5ha以上は許可がいる。

Q 太陽光パネルの廃棄は？

A 設置者に対し、撤去費用の確保をお願いしている。国は10kW以上は「廃棄等費用積立制度」を導入している。

Q 県の条例が4月から施工されたが、変化はあったか？

A 条例後の届出は1件あり、トラブルも問い合わせもない。

Q 住宅への太陽光発電等の導入支援は？

A 蓄電システムは昨年度35件今年度18件の申請がある。県には太陽光発電設備及び蓄電池の共同購入や既存住宅エネルギー自立化補助金がある。

【要望】 住民への聞き取りを。

マイナ保険証一本化が12月2日から、始まる??

Q 運用方法は？

A 現行の保険証は1年間有効である。資格確認書はマイナ保険証を持つていない方には市から発行される。マイナ保険証の有効期限は5年である。国保も同様に運用。

Q マイナ保険証の利用率は？

A 6月時点で86.1%。

【要望】 わかりやすい周知を。

Q コロナウイルス感染症のワクチン接種は？

A 65歳以上と障害のある方が対象で個人の申請により、受ける。10月15日から令和7年3月末までが接種期間である。接種費用は3200円の負担金であり、生活保護世帯や非課税世帯は無料である。対象外の方は全額自費で15300円程度かかる。わかりやすい周知を図る。



気候危機せまる

Q スワンバス運行上廃止された二つの停留所の復活は？

A 見直しや改善に向けては、定期的に職員が乗車し、乗降状況や利用状況など調査を実施するとともに、総合的に判断しそれぞれ関係する2市1町の地域公共交通活性化協議会で協議していく。



田村みどり



Q 一年が経過しようとしている早出市政。市長職に就かれて考えたことは？

A 就任以来「市民の皆さんが主人公として輝けるまち」の実現に向けて無我夢中で日々邁進してきた。本市のおかれている状況や課題を再認識することができ、多くのことを学び、市政運営における責任と使命を深く感じた。その上で、行政課題への対応と岡谷市の未来への投資に果敢に挑戦していくという思いを強くし、市政の舵取り役として着実に市政を進めていくと改めて決意をした。

スワンバスの運行

Q 平成28年のスワンバスのダイヤ改正で「岡谷電機産業前」と「山田歯科医院」の停留所が廃止された経緯は？

A このダイヤ改正では、乗降調査において、利用者が非常に少なかった

この2か所の停留所を廃止した。

岡谷市民病院新たな取り組み

Q 岡谷市民病院産婦人科の新たな取り組みの内容は？

A 慢性的な身体の不調や女性に見られる変化などに焦点を当てた「セルフケア・家族ケア外来」と「子宮鏡センター」を本年4月に開設した。

乳幼児健診

Q 3歳児健診で行う視力検査の屈折検査機器の働きと効果は？

A 子どもの目の機能は、3歳までに急速に発達し6歳から8歳までにほぼ完成。この時期に視力を妨げる要因があれば「弱視」となる「弱視」では、遠視や乱視などの屈折異常の原因が多く、早期発見のため屈折検査機器を使用する。機器導入後の要精検者の割合は増加。視力の発達遅れや眼疾患の治療に繋がっている。



乗って残そう!みんなのバス!!

Q 岡谷市公式ホームページの目的・役割は？

A 市政に関する情報の発信。多くの情報を掲載しつつでも、誰でも得られることが大切。また、岡谷市の特色を全国にPRする「市の顔」でもある。



秋山 良治



Q 改善などの予定はあるのか？

A 時期は未定だが、次回更新の際に情報へのアクセスのしやすさの改善は検討する。

Q ホームページ利用の促進は？

A 広報おかのやの表紙に岡谷市公式ホームページのQRコードを掲載し、スマホでも気軽にアクセスできる。

Q 岡谷市公式ホームページの課題は？

A 発信している情報をいかに多くの方に見ていただくかがある。

岡谷市の農業について

Q 研修農園の目的と、現在の使用状況は？

A 有休農地の解消と農業の担い手につなげることを目的に平成22年度よりスタート。

現在は「サポートファーム事業」として継続。延べ230組の方が受講。担い手の育成、遊休農地の解消、地産

Q 平日開催だけではなく、若い世代のためにも週末開催にしたら？

A 地消の推進に繋がっている。令和6年度は14区画に対し、5組(8名)が受講。

Q 新たな講師の確保が必要になる。

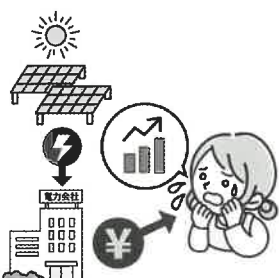
Q 持続可能な農業政策についての市長の見解は？

A 本市は自給的農家が多い状況があり、家庭菜園など、野菜作りに親しむ市民が増えるように工夫したい。拡がりつつある遊休農地の解消、農業者の高齢化に伴う担い手の育成に繋げたい。

再生可能エネルギーについて

Q 再エネ賦課金については？

A 近年、再エネ賦課金は上昇しており家計への負担が懸念されているが、国が定める制度であり市での対策は困難。



再エネ賦課金

Q 総合計画は行政の進め方を示すもの。その評価は？

A コロナ禍であったが、創意工夫をして、着実に歩みを進めた。



花岡健一郎



Q (委員からの質問があった)令和5年度の市債は

A 交付税措置のない市債については借入れを取りやめて市債残高の圧縮を図った。

市民憲章推進協議会について

Q 市民憲章推進協議会の概要、今年度の取り組み、内容は？

A 昭和47年発足。45団体で構成。今年度は、諏訪湖サイクリングロードの完成に伴い、小口太郎像付近につつじの記念植樹、小中の新入生に花の球根等配布。憲章の精神を次の世代に引き継いでいきたい。

Q 9年間のカリキュラムを柔軟に設定するメリットと課題は？

A 小中の移行が円滑となり、教職員の協働した教育活動が可能となる。6年生の成長が阻害される懸念があり、リーダーとして活躍できるなどの工夫が必要となる。

Q ヤングミセスの皆さんから意見を聞く機会は大変重要だが考えは？

A 当事者の皆さんから直接お話を聞く場は機会を捉えて設けていく。

Q 特別支援教育の新たなモデルケースを示して頂けるのか。

A 現在、西部中学校は市内で唯一LD等通級指導教室を開設しており特別支援教育の拠点となっている。義務教育学校では更に機能強化を図り、多様な学びの場のモデルケースにしていきたい。

Q 子どもの体験格差について。

A 子どもの頃の体験は自己肯定感の醸成や前向きな行動など様々な効

Q 川岸学園構想をパイロットモデルとした考え？

A 市内初となる先駆的な試みであり取り組み全体を市のパイロットモデルとした。今後の教育行政のモデルケースにしていきたい。



渡辺 太郎



果をもたらす大変重要な要素。家庭の経済状況等によらず、多くの子ども達が体験できる取り組みを様々な教育活動の中で大切にしていきたい。

高齢者等終身サポートと人生会議

Q 高齢者の身元保証や死後事務、日常生活支援サービスの需要は？

A 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加し需要は高まっている。国の「高齢者等終身サポート事業者ガイドライン」では様々な課題が示されている。高齢者等が安心して利用できる事業となる様、官民が連携して取り組みを進めていきたい。

Q 人生会議やリビングウィルの取り組みは？

A 市民の関心の高まりを感じており。周知・啓発に取り組んでいく。



武井武雄 こどもの国の魔法使い
©岡谷市／イルフ童画館

Q (委員からの質問があった)要介護認定率について

A 全国平均を下回り、長野県平均では上回っている。

Q 8月21日開催された岡谷市基本構想審議会での委員の発言と市側の答弁は？

A 審議会の委員は、企業関係者、労働団体関係者、知識関係者、一般公募3名他、計19名で構成し、年2回審議会が開催される。

Q (委員からの質問があった)要介護認定率について

A 全国平均を下回り、長野県平均では上回っている。



市民みんなで市民憲章の推進を

令和6年 第4回定例会 (主な議案の審査
審議結果)

令和6年9月3日(火) から10月1日(火) までの29日間の会期で開かれ、報告案件3件、議案27件が審査・審議されました。

◆議案第73号

岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例

本会議での提案説明

医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、改正するもの。

この改正に伴い、本条例中の「保険医療機関等に被保険者証等を提示する」規定を「電子資格確認等により確認を受ける」規定に改める改正を行うものである。

※本会議での説明質疑後、社会委員会に審査付託。

◆社会委員会での主な討論等

マイナンバーカードに係る改正であり、マイナンバーカードには、情報流出の不安、一部の高齢者にはマイナンバーカードの申請が困難など、マイナンバー制度には多くの問題があると考えていることから、本議案には反対する。

一方、今回の条例改正は、被保険者証の廃止に伴い、適正な事務処理を行うための改正である。現

行の紙の保険証も最大1年間は資格確認を行うことができるなど配慮もある。業務の停滞が起きないためにも、必要な条例改正であり、本議案には賛成する。

※質疑討論の後、採決が行われ、委員会で賛成多数で可決。

本会議において議案の審議
※採決により本議案は、賛成多数により可決されました。

◆議案第77号

岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例

本会議での提案説明

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、改正するもので、国が空家等の増加に対する総合的な対策を強化するもので、その中で、適切な管理がなされておらず、そのまま放置すれば特定空家等になるおそれのある空家等を「管理不全空家等」として新たに用語の定義を行い、市町村長は、その所有者等に対して指導・勧告ができるようになったことに伴い、特措法との整合を図るため、用語の整理、条文の整備等の所要の改正を行うもの。

※本会議での説明質疑後、産業建設委員会に審査付託。

◆産業建設委員会での主な質疑及び討論

現行の条例の規定における管理不全な空き家に対する助言、指導、勧告及び命令の改正後の規定について質疑があり、「空家等対策の推進に関する特別措置法」を引用していく、とのことであった。

また、現在の市内の空家の分類に関する運用上のA、B、Cの区分と条例改正後の規定による法律上の空家との関係について、質疑があり、市の分類と、国の定めているガイドラインにおける管理不全空家、特定空家では判定の基準が異なっており、そのうえで、現在のところ、Cに分類されている空家の中に、国のガイドラインを勘案すると管理不全空家に該当する物件が数件、特定空家に該当する物件はない、とのことであった。

本会議において議案の審議

※採決により本議案は、賛成多数により可決されました。

◆議案第80号

令和6年度

岡谷市一般会計補正予算(第7号)

本会議での提案説明(一部抜粋)

教育費について。GIGAスクール構想により令和2年度に1人1

台のタブレット端末を整備したが、国では第2期の端末更新を見据え、学校ごとに固定回線のネットワークの推奨帯域の水準を示し、ネットワーク速度の確保に向けて取組むこととしている。現在のネットワーク速度は、簡易診断において国が示す推奨帯域を満たしていないことから、原因を分析・診断するために必要な委託料を計上するもの、とのことであった。

※本会議での説明質疑後、総務委員会に審査付託。

◆総務委員会での主な質疑及び討論

委託の内容等について質疑があり、今回の委託は、専門業者により、市内全小中学校に現在整備済みのネットワーク環境のアクセスメントを実施し、既存のネットワークを分析・診断することで、ネットワーク環境の現状、問題点や改善点を把握するもの。主な内容は、校内インターネット間の通信量、ネットワーク構成や機器間の回線性能の調査、通信速度測定や通信遅延の調査、WiFi電波強度の調査などである。国庫補助金の活用を見込んでおり、11月下旬から来年1月にかけての約2か月間で実施する予定。調査費用は1校当たり約22万円、諸経費を含めると小中学校併せて約300万円の事業。

ご意見・ご要望

市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けいたしますので、下記までお寄せください。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL23-4811（内線1711）FAX22-6213

メール

gikai@city.okaya.lg.jp

各議案に対する議員の採決態度については、ホームページをご覧ください。



ホームページ

<http://www.city.okaya.lg.jp/okayashigikai/>

※採決により本議案は、賛成多数により可決されました。

本会議において議案の審議

○令和6年第4回定例会(全会一致により可決された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
報告第18号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市病院事業会計補正予算(第3号))	議案第72号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
報告第19号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第4号))	議案第74号	岡谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
報告第20号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第5号))	議案第75号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案第61号	令和5年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第76号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第62号	令和5年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第77号	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第63号	令和5年度岡谷市公園事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第78号	長野県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
議案第64号	令和5年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第79号	令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第6号)
議案第66号	令和5年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	議案第80号	令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第7号)
議案第67号	令和5年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	議案第81号	令和6年度岡谷市病院事業会計補正予算(第4号)
議案第68号	令和5年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	議案第82号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書
議案第69号	令和5年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	議案第83号	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた速やかな検討を求める意見書
議案第70号	岡谷市教育委員会委員の選任について		
議案第71号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		

○令和6年第4回定例会(賛否が分かれた議案等一覧)

議案番号	件名	今井 康善	秋山 良治	土橋 学	花岡 健一	山崎 仁	小松 壮	藤森 弘	宇野 香二	田村 みどり	酒井 和彦	上田 澄子	早出 すみ子	今井 浩一	渡辺 太郎	吉田 浩	中島 秀明	笠原 征三	丸山 善行
議案第59号	令和5年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	×	○
議案第60号	令和5年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	×	○
議案第65号	令和5年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	×	○
議案第73号	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	×	○
議案第84号	現行の健康保険証の存続を求める意見書	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	○	×	×
議案第85号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	○	×	×

議長は議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 趣…趣旨採択。請願の趣旨について採択する決定方法。

○令和6年第4回定例会(陳情の審査結果)

陳情番号	件名	付議委員会	審査結果
陳情第39号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	社会委員会	趣旨採択
陳情第40号	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	社会委員会	不採択
陳情第41号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良事業に対する要望書	産業建設委員会	採択
陳情第42号	岡谷市内危険箇所改修について要望書	産業建設委員会	趣旨採択
陳情第43号	請負上限金額の変更及び指名競争入札における市内本業者への発注についての要望書	産業建設委員会	趣旨採択

議会広報広聴委員会

- 委員長：小松 壮 ●副委員長：早出 すみ子
- 委員：宇野 香二・今井 浩一・渡辺 太郎・吉田 浩・山崎 仁



岡谷市
今昔物語

故きを温ねて
新しきを知る

みんなと歩んだ100年

諏訪湖からの天竜川に向かう最初にある橋が釜口橋。初代は平野村・湊村により明治7年5月に架けられましたが、廃藩置県のバタバタの中、県の許可を得る前だったため、対岸の豊田村からはその頑丈な橋が諏訪湖の浸水被害につながると、撤去の申請が出されたとか。そのやり取りはしばらく続くものの、和解の末に架けられたのが、吊り橋式の三代目(写真)。

大正2年のこと。上諏訪町、豊田村は金900円が寄付されたそう。現代の釜口橋が架けられたのは昭和7年です。



画像出典: 岡谷市教育委員会発行
「ふるさとの歴史 製糸業」(平成6年 19p)より



現在の釜口橋
撮影: 議会事務局(令和6年10月)

市民との交流 ようこそ! 岡谷市議会へ

7月5日(金)に湊公民館のいちい学級の受講生の皆さん7名が、公民館のお出掛け講座「私たちの市議会を知ろう」で、岡谷市議会にいらっしゃいました。

議場や全員協議会室などの見学、議会のしくみ等の説明のあと、議員と意見交換を行いました。

皆さんからは、「車の免許更新とタクシーの台数の減少が心配」「シルキーバスを市民がもっと利用して存続してほしい」「車が運転できなくなったら、バスの利用を考えないといけない」など、公共交通の充実を求めるご意見が多くありました。



YouTube  岡谷市公式チャンネル で

令和6年第4回定例会 一般質問が視聴できます



今号の「今昔物語」は釜口橋です。その傍らには与謝野晶子のうた「諏訪の湖(うみ) 天竜となる釜口の水しづかなり 絹のごとくに」の歌碑が立っています。古い記録には当時の釜口橋は吊り橋であり、川底に生えている青草が流れに漂い、あたかも絹糸を流すように流れていたという記述がありました。歴史と古き時代の先人の努力に思いを馳せ、故きを温ねて新しきを知る旨意を感じています。一人でも多くの市民に「議会のひろば」を見て頂けるよう更に 努力を重ねてまいります。

(渡辺太郎)

編集後記